

令和元年度 **地理 A ・ 地理 B** (50分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	選 択 方 法
地 理 A	1 ~ 40	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
地 理 B	41 ~ 80	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。

・①氏名欄

氏名を記入すること。

・②受験番号、③生年月日、④受験地欄

受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。

・⑤解答科目欄

解答する科目名を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークすること。

- 5 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答科目が正しくマークされていない場合は採点できないので、必ず正しくマークすること。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10

と表示のある問いに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄			
10	①	②	③	④

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

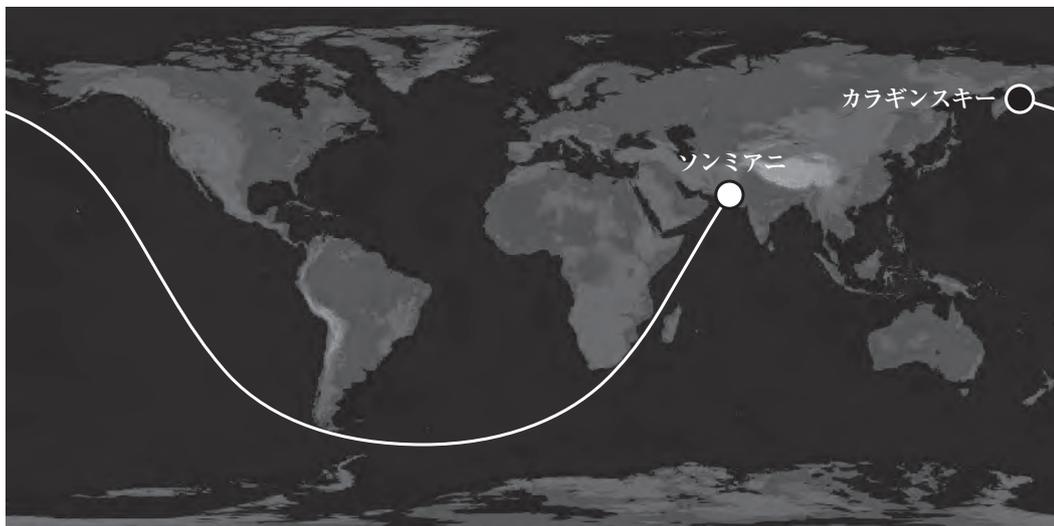
地 理 A

(解答番号 ~)

1 地球儀や地図から捉える現代世界に関して、問1～問4に答えよ。

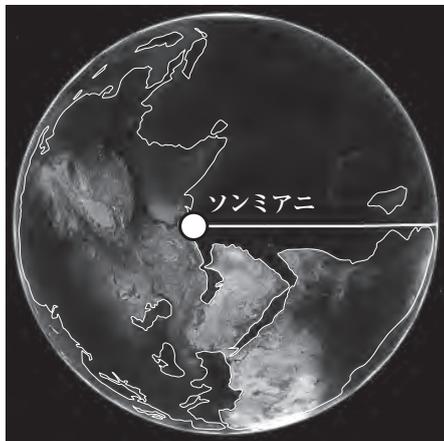
問1 マリさんは、インターネット上の地図やデジタル地球儀に興味をもち、資料1～資料3を得た。これらの資料を基に作成されたマリさんのまとめのうち、空欄 , に当てはまる記号と語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

資料1 海洋上での世界最長の直線航路



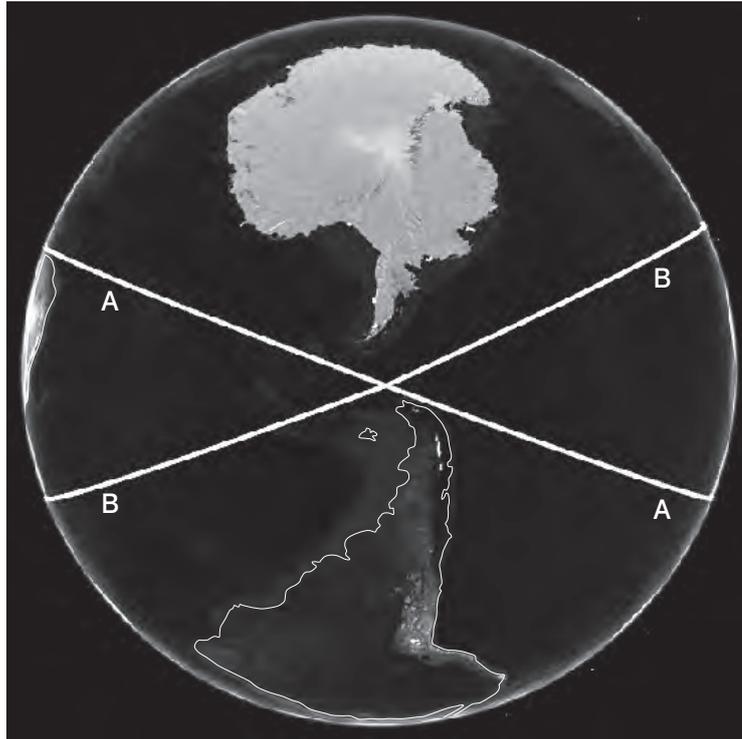
(「Longest Straight Line Paths on Water or Land on the Earth」により作成)
(LIVE SCIENCE:Rohan Chabukswar Kushal Mukherjee)

資料2 航路の両端部付近を示したもの



(Google Earth により作成)
(©2014 Digital Globe)

資料3 南アメリカ大陸南端部付近



(Google Earth により作成)
(©2014 Digital Globe)

マリさんのまとめ

資料1中の白線は、海洋上の直線航路(舵を変えずにまっすぐに進んだ海洋航路)のうち世界最長のものを示し、この航路は、パキスタンのソンミアニから、ロシア連邦カムチャツカ半島のカラギンスキーまでの、距離にして約32,000 kmを示している。

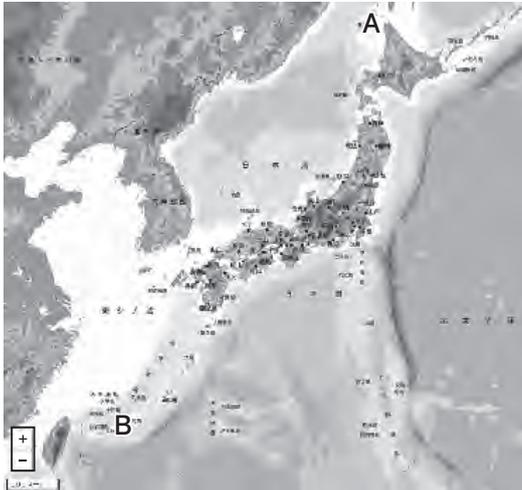
資料1の地図では、この航路を直線で表示することができないので、資料2中のデジタル地球儀(Google Earth)を使ってその航路をたどってみると、航路が直線であることを確認できた。また、南アメリカ大陸の南端部付近におけるこの航路を正しく示しているのは、資料3中の **X** で示した白線である。

これとは別に、このソンミアニとカラギンスキー間を飛行機で飛ぶ場合の最短距離は約8,000 kmの **Y** で表される。

	X	Y
①	A	大圏航路
②	A	等角航路
③	B	大圏航路
④	B	等角航路

問 2 マリさんは、地理院地図の仕様について興味をもち、資料4～資料6を得た。これらの資料に関して、マリさんと先生の会話文中の空欄 **X**， **Y** に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **2**。

資料4 地理院地図のトップページ画面の一部



画面左下の+をクリックすると地図を拡大，-をクリックすると地図を縮小できる。

この画面から，A，B付近の地域で+を10回クリックすると，資料5のように拡大して表現される。

資料5 資料4中のA，B付近いずれかの地域を拡大表示させたときの地図の一部

ア

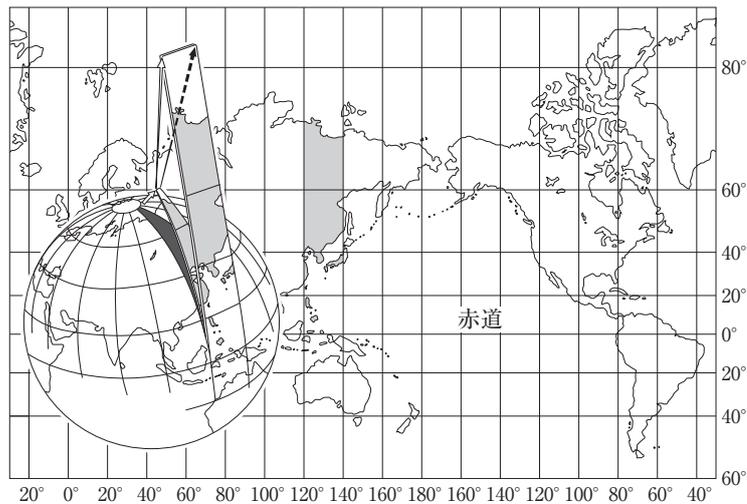


イ



(<https://maps.gsi.go.jp> により作成)

資料6 メルカトル図法の原理



(『知って楽しい地図の話』による)
(日本地図センター)

会話文

先生：資料5のA, Iを見てください。これらは地理院地図で資料4のA, B付近いずれかの地域を拡大表示させたときの地図の一部です。どちらも東西方向2 km スケール表示の地図です。

マリ：二つの地図の東西方向の幅は異なっています。どういうことですか。

先生：地理院地図はメルカトル図法で描かれています。そして資料6は、メルカトル図法の原理を示しています。どのようなことが読み取れますか。

マリ：資料6の地球儀の図を見ると、緯線一周の長さが高緯度に行くにつれて短くなっています。しかし、メルカトル図法の地図では緯線がどこでも赤道と同じ長さになっています。つまり、高緯度では距離が **X** されて表現されていることが分かります。

先生：そのとおりです。それでは、資料5のA, Iのうち、A付近を示した地図はどちらになりますか。

マリ：メルカトル図法の特徴を考えると、A付近を示したのは **Y** だと思います。同じ日本なのに、緯度の違いによってこんなにも表示される大きさが変わるのですね。

先生：地図を読むときには、描かれている図法や縮尺にも気を付けて読むように心がけてください。

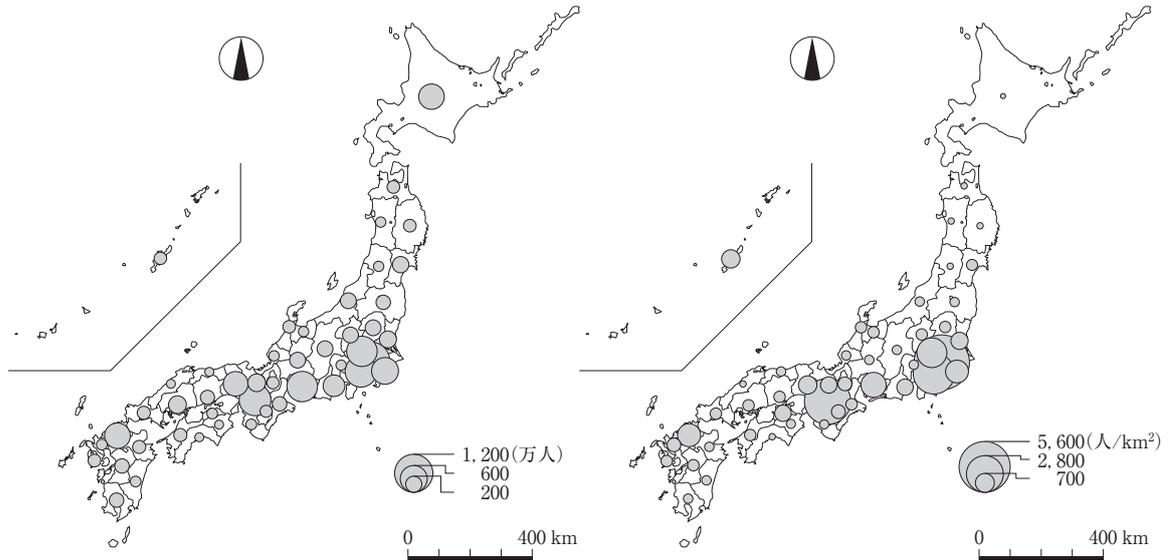
	①	②	③	④
X	拡大	拡大	縮小	縮小
Y	A	I	A	I

問 3 マリさんは、様々な統計地図の表現方法に興味をもち、資料7と資料8を得た。これらの資料に関して、マリさんと先生の会話文中の空欄 **X** , **Y** に当てはまる記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **3** 。

資料7

A 都道府県別人口(2015年)

B 都道府県別人口密度(2015年)

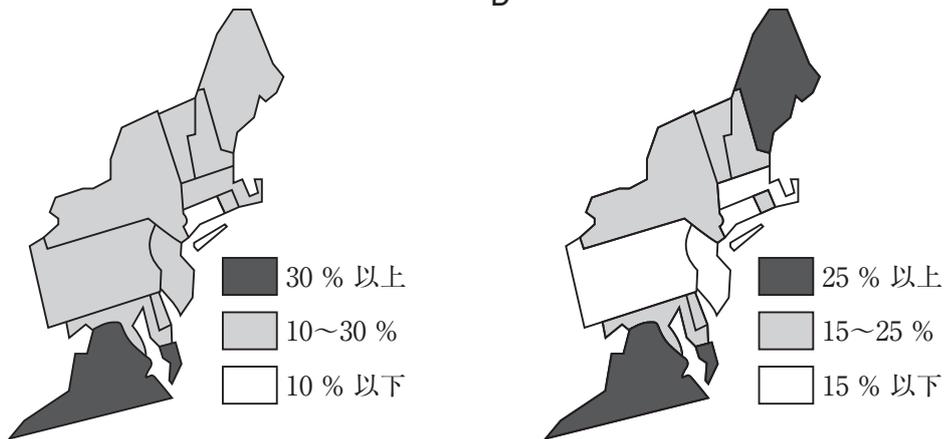


(「平成27年国勢調査」により作成)

資料8 アメリカ合衆国北東部州別の電話をもたない世帯の割合(1960年)

C

D



(「地図は嘘つきである」により作成)

会話文

先生：統計地図には、絶対分布図と相対分布図の大きく二つの地図があります。絶対分布図は、地理的な統計などの数量の値をそのまま地図に表現するのに対し、相対分布図は、割合や平均値のように他と比較した値を地図に表現したものです。

マリ：先生、いくつかの統計地図を探してきました。資料7と資料8がそうです。

先生：資料7で用いられている表現方法は、円の大きさと数量などの絶対的な値を表現する図形表現図で、絶対分布図に分類されます。

マリ：そうすると、AとBのうち、絶対分布図としてより適切に表現されているのは **X** の地図ですね。

先生：そのとおりです。次の資料8は、割合のような相対的な値を表現する際に用いる階級区分図で、相対分布図に分類されます。CとDは同じ統計を使って作成されていますが、階級区分の決め方によって読み手に与える印象が変わってきてしまう例なのです。どちらの方が、地図化した情報を適切に読み手に伝えていると考えられますか。

マリ：特定の地域のみを際立たせることなく、全体の分布傾向を、より適切に読み取ることができるのは **Y** だと思います。階級区分図では、地図で表現するときに注意が必要ですね。

先生：地理にとって、地図は大切な表現手段です。統計地図を描く際は、適切な表現方法を用いること、読み取る際には適切に分布を読み取り、地域の特徴をつかむことが大切です。

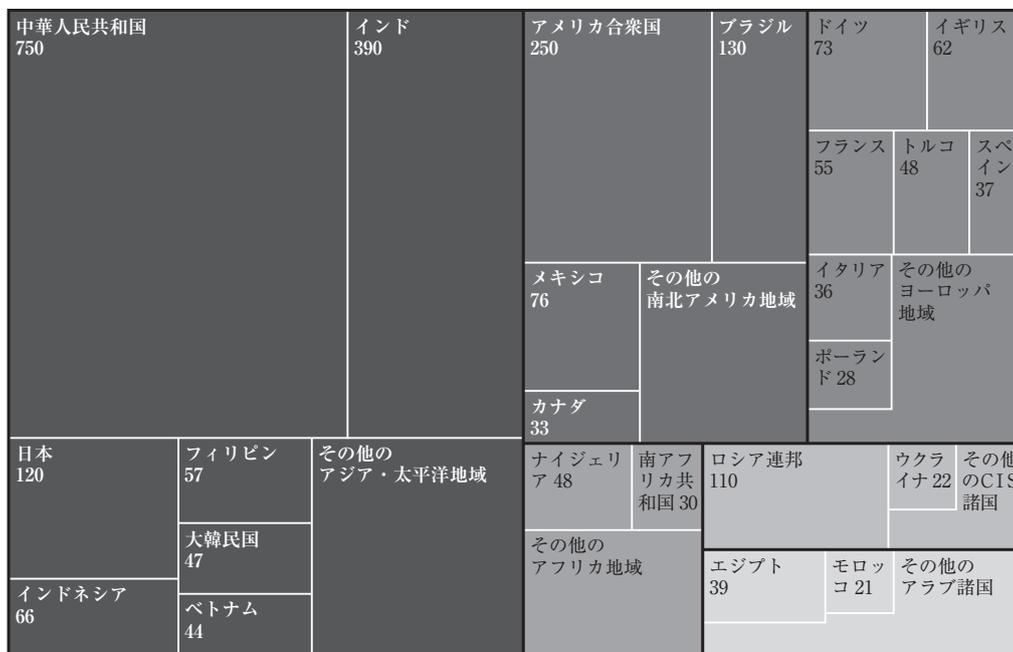
	X	Y
①	A	C
②	A	D
③	B	C
④	B	D

問 4 マリさんは、世界のインターネットの普及状況に興味をもち、資料9～資料11を得た。

これらの資料から読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 4 。

資料9 各国・地域別のインターネット利用人口(2016年)



アジア・太平洋地域
 南北アメリカ地域
 ヨーロッパ地域
 アフリカ地域
 CIS諸国
 アラブ諸国

注) ・単位は100万人。

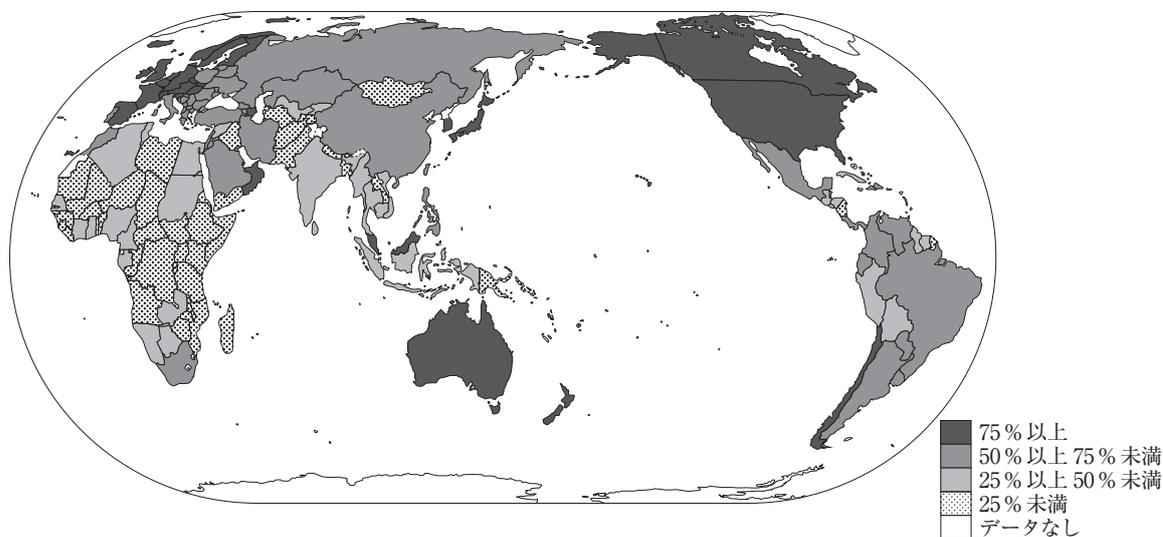
・各国の地域区分は、ITU(国際電気通信連合)ホームページの区分による。

・中華人民共和国は、香港、マカオ、台湾を除いたもの。

・CIS諸国は、旧ソ連構成国のうち、エストニア、ジョージア、ラトビア、リトアニアを除いた11か国。

(<https://www.itu.int/en/ITU-D/Statistics/Pages/stat/treemap.aspx> により作成)

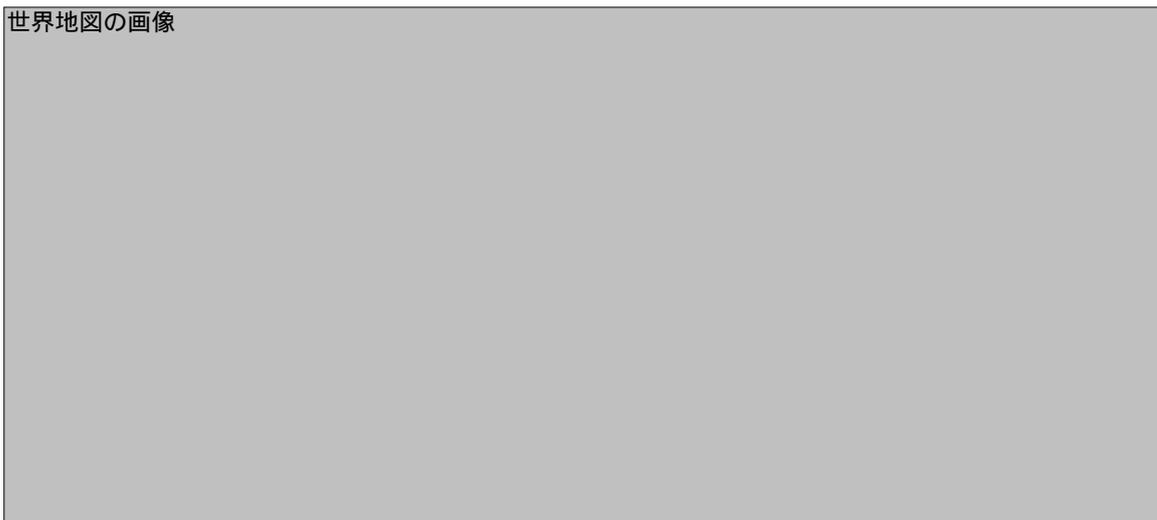
資料10 各国・地域別のインターネット普及率(2016年)



(ITU資料により作成)

資料11 「Twitter(ツイッター)」上で情報発信された位置を示した世界地図

世界地図の画像



注) ・2018年10月のもの。
・情報発信された位置は、白色で表示されている。

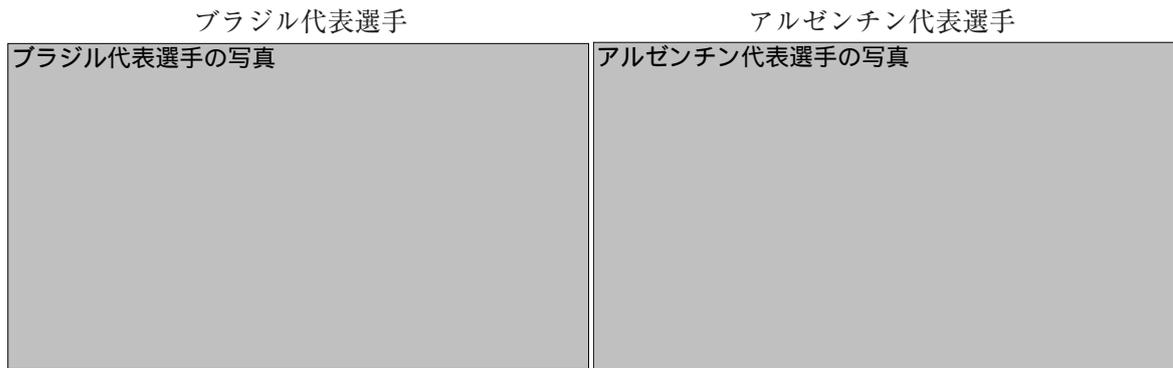
(<https://www.tweetping.net/>による)

- ① 資料9から、インターネット利用人口で、アジア・太平洋地域は、世界の約半分を占めていることが分かる。
- ② 資料10から、インターネット普及率が25%未満の国は、南北アメリカ地域に比べて、アフリカ地域の方が多いことが分かる。
- ③ 資料9と資料10から、インターネット利用人口の上位5か国は、インターネット普及率がすべて75%以上であることが分かる。
- ④ 資料10と資料11から、インターネット普及率が75%以上の国でも、「Twitter(ツイッター)」上で情報発信された位置には国内に地域的な偏りがあることが分かる。

2 世界の生活文化の多様性に関して、問1～問4に答えよ。

問1 カズヨシさんは、サッカーワールドカップ2018ロシア大会(以下、ワールドカップ)に出場したチームの選手の民族構成に興味をもち、資料1と資料2を得て、資料3を作成した。資料3のレポート中の空欄 **X** ～ **Z** に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **5**。

資料1



注) 写真はワールドカップ出場前に撮影されたものであり、かならずしもワールドカップ2018ロシア大会出場選手とは一致しない。

(<https://qoly.jp/2018/05/30/brazil-in-worldcup-2018-1> などによる)

資料2 南アメリカの農業地域



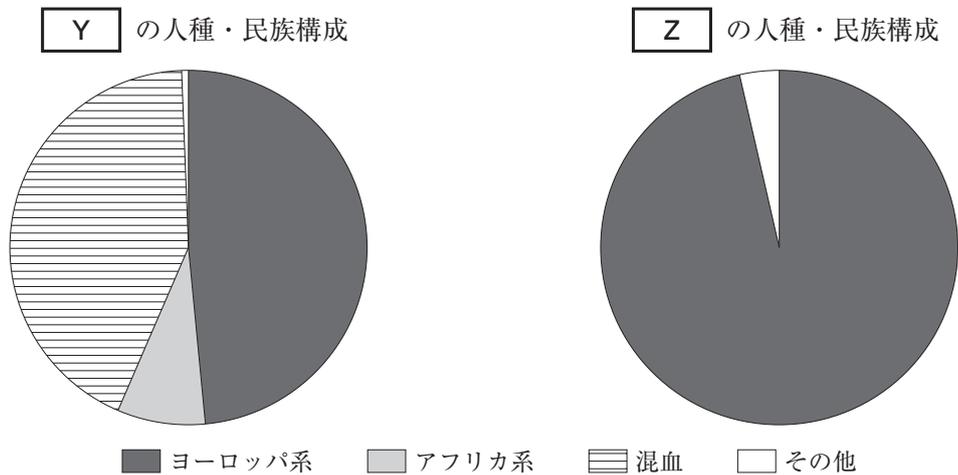
(『Diercke Weltatlas 2008』ほかにより作成)

資料3 カズヨシさんのレポート

資料1から、ブラジルとアルゼンチンでは、同じ南アメリカの国であっても、選手の人種・民族構成は大きく異なっていることが分かる。これは両国成立の歴史的背景の違いを反映していると考えられる。

南アメリカには先住民が住んでいたが、16世紀になるとスペインやポルトガルなどによって植民地化され、一部の地域にはヨーロッパ系の人々が多数移住するようになった。また、その人々が経営する、主に **X** のプランテーションで奴隷として働く労働力として、アフリカ系の人々が連れてこられた。そのため南アメリカの人種・民族構成は、16世紀以前の先住民の人口分布やヨーロッパ系の人々の移住状況、そして資料2にみられるようなプランテーションの分布などによって地域ごとに異なったものとなっている。

下の円グラフは両国の人種・民族構成を表したものである。



(外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/> により作成)

	X	Y	Z
①	サトウキビ	ブラジル	アルゼンチン
②	サトウキビ	アルゼンチン	ブラジル
③	小麦	ブラジル	アルゼンチン
④	小麦	アルゼンチン	ブラジル

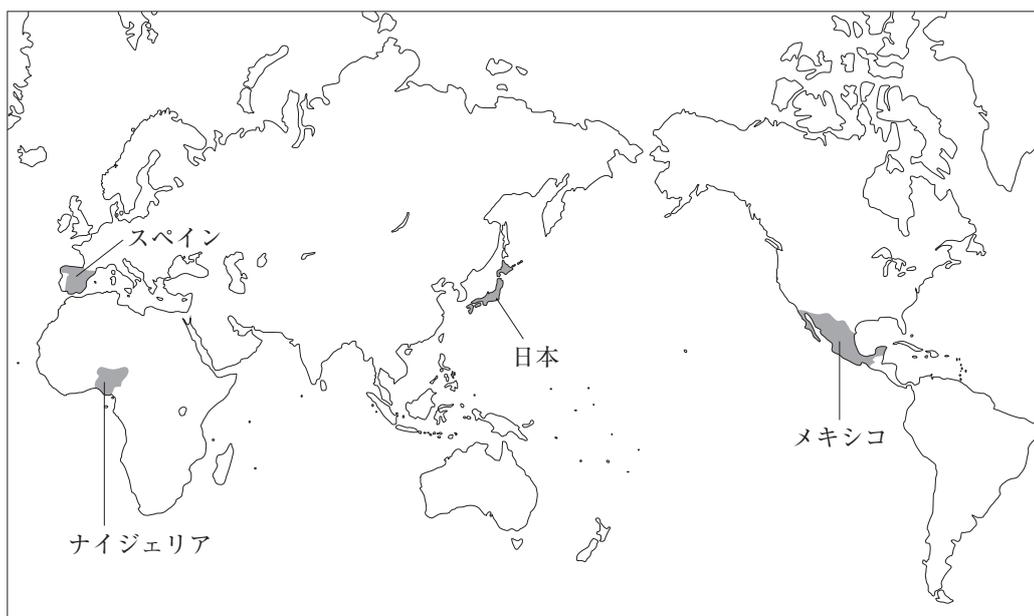
問 2 カズヨシさんは、ワールドカップ出場国の食事に興味をもち、資料4～資料6を得た。資料6中の①～④は、それぞれ資料4のいずれかの国について示したものである。資料5を参考に、メキシコに当てはまるものを資料6中の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は

6

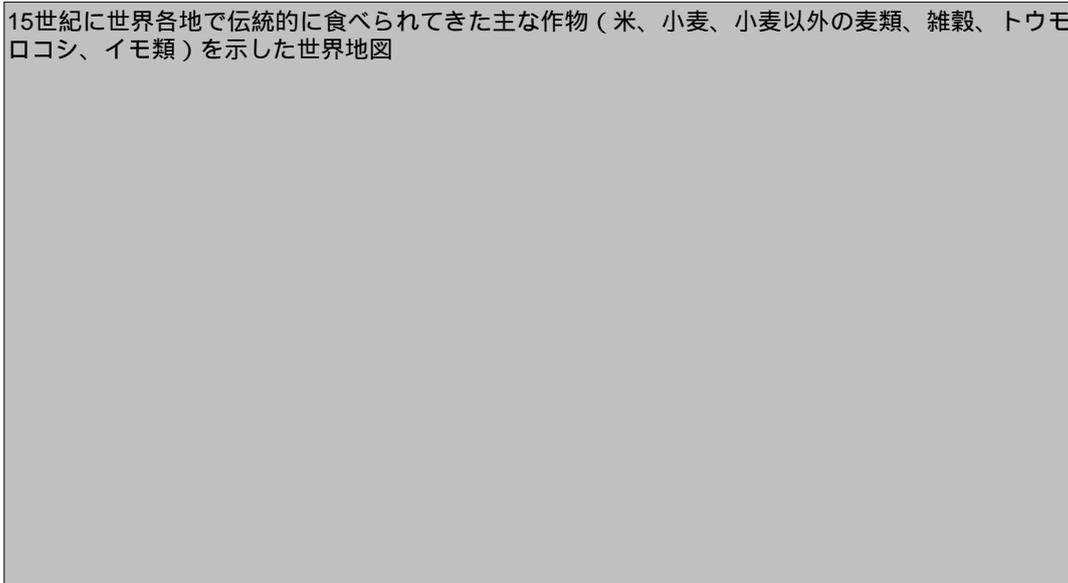
。

資料4

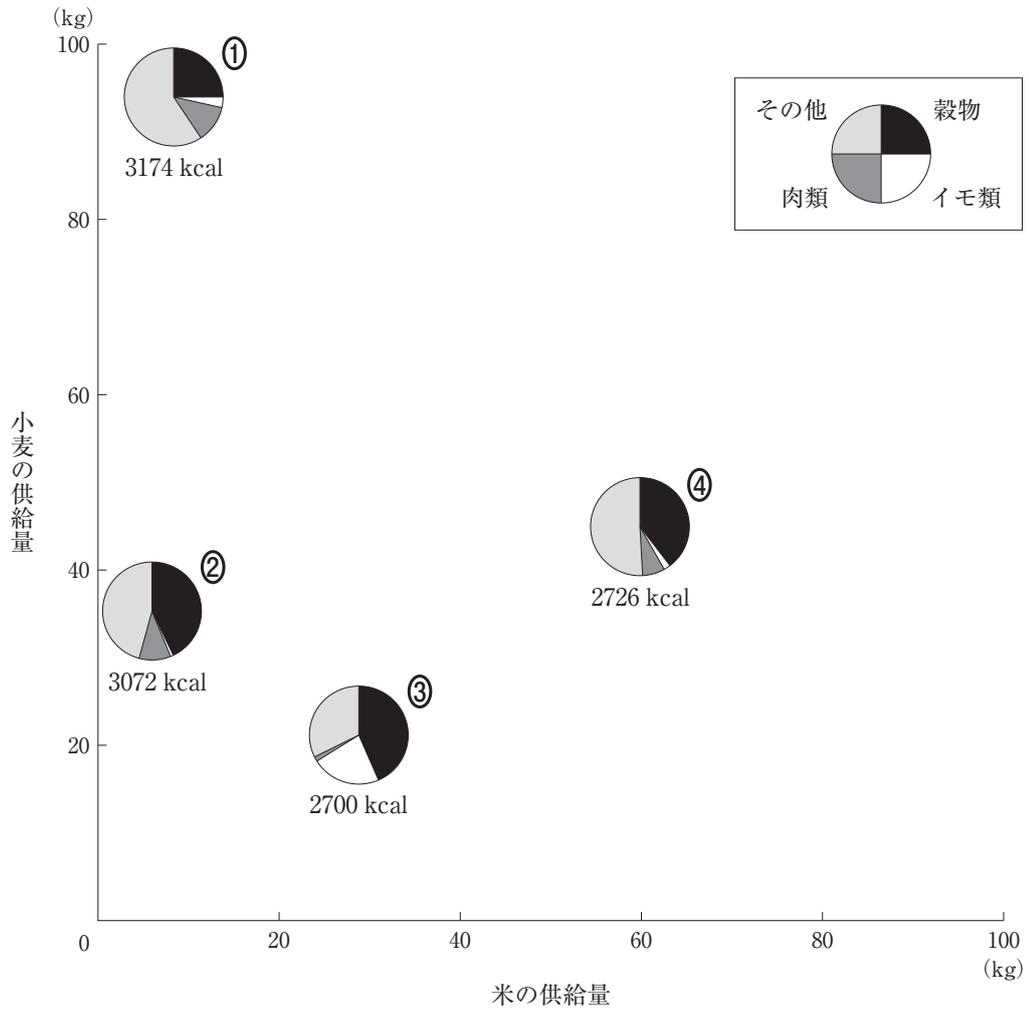


資料5 世界各地で伝統的に食べられてきた主な作物(15世紀)

15世紀に世界各地で伝統的に食べられてきた主な作物(米、小麦、小麦以外の麦類、雑穀、トウモロコシ、イモ類)を示した世界地図



資料6 国民一人あたりの1年間における米・小麦の供給量と供給熱量の内訳(2013年)



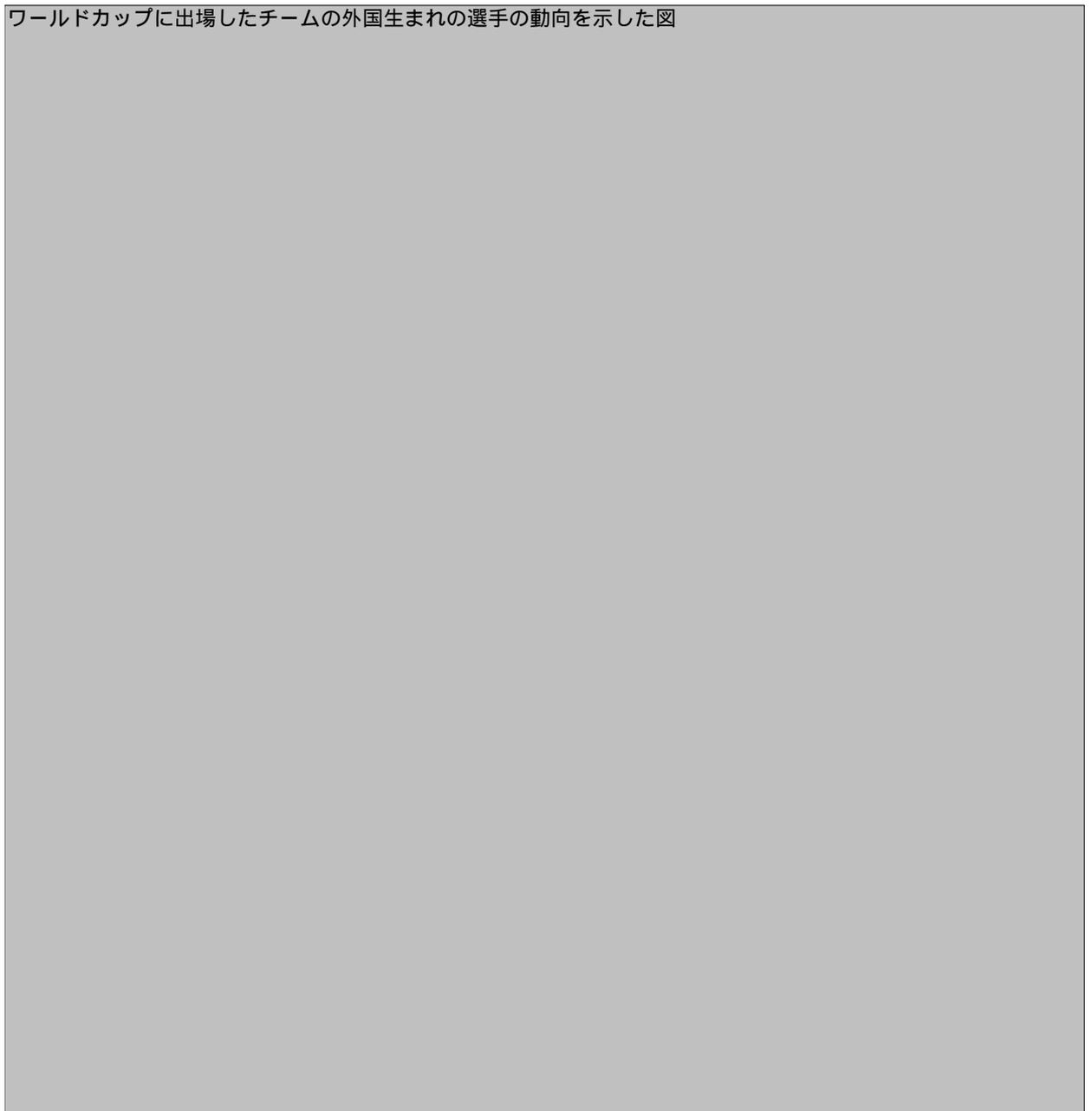
注) 米は精米換算である。

(総務省統計局『世界の統計 2018』により作成)

問 3 カズヨシさんは、ワールドカップに出場したチームの多くに外国生まれの選手が含まれていることに興味をもち、資料 7 と資料 8 を得た。資料 7 中の空欄 **A** , **B** にはドイツとフランスのいずれかの国名が、**C** , **D** にはアフリカと南アメリカのいずれかの地区名が入る。資料 8 とカズヨシさんのレポートを参考に、資料 7 中の空欄 **A** , **D** に当てはまる組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **7** 。

資料 7 ワールドカップに出場したチームの外国生まれの選手の動向

ワールドカップに出場したチームの外国生まれの選手の動向を示した図



(『ナショナルジオグラフィック日本版 2018 年 6 月号』により作成)

資料8 ヨーロッパ諸国における外国生まれの人口とその出身地



カズヨシさんのレポート

FIFA(国際サッカー連盟)は、外国生まれでも親や祖父母の出身国の代表チームに所属することを認めている。2018年のワールドカップでは、資料7のように、外国の代表チームに所属する選手が多く見られた。この傾向は特に「ヨーロッパ地区」と他の地区との間で顕著であった。これらの選手の国家間の移動は、資料8で示された出身地の傾向を反映していると考えられる。

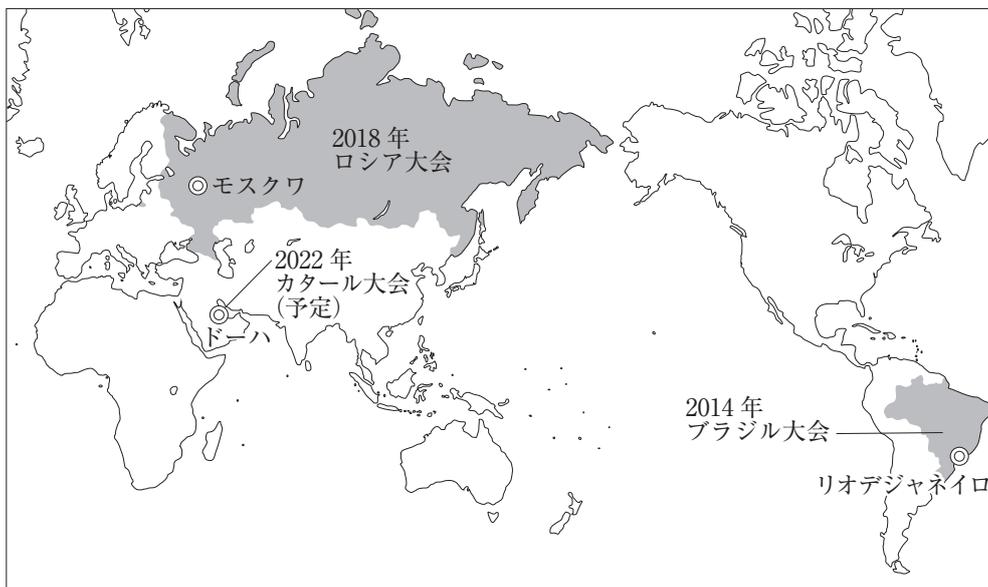
	A	D
①	ドイツ	南アメリカ地区
②	ドイツ	アフリカ地区
③	フランス	南アメリカ地区
④	フランス	アフリカ地区

問 4 カズヨシさんたちは、2022年のワールドカップの開催国とその大会期間に興味をもち、資料9～11を得た。これらの資料を基にカズヨシさんたちの会話文中の空欄 X に最も適するものを、あとの①～④のうちより一つ選べ。解答番号は 8 。

会話文

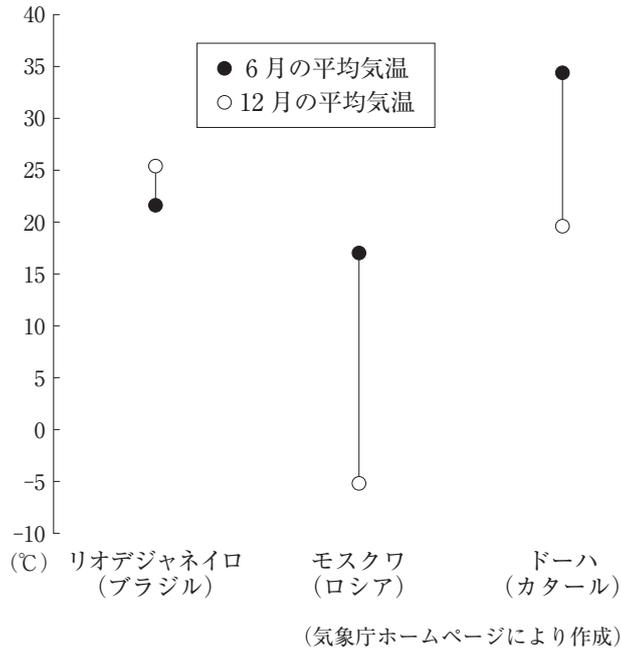
カズヨシ：2022年に開催されるワールドカップの開催国はカタールの予定だね。資料9を見て。
 ツヨシ：カタールはイスラム教を国教としているけど、2022年のワールドカップでは大会期間と、イスラム教徒が断食する月であるラマダーンが重なる心配はないのかな。
 マサシ：資料11によると、2014年と2018年のワールドカップでは、大会期間とラマダーンが近かったようだね。
 カズヨシ：ラマダーンはイスラム暦の12ヶ月の中9番目の月なんだけど、イスラム暦は西暦より1年が11日短いんだよ。
 ツヨシ：だから西暦のカレンダーではラマダーンの期間がずれていくのか。
 カズヨシ：期間中は、日の出から日没までは水を飲むことも含めて飲食が禁じられているんだけど、日没後は飲食できるんだよ。
 マサシ：なるほどね。それで、2022年のワールドカップの大会期間はいつになるのかな。
 カズヨシ：サッカーは1試合に10km以上も走るスポーツだから、気温が大会期間を決めるのに重要な条件になるだろうね。
 ツヨシ：資料10を参考に自分たちで考えてみようよ。
 マサシ：気温も過去の2大会と同じくらいで、かつラマダーンと最も離れていることを条件にすると考えると、資料11に当てはまるスケジュールとしては X が考えられるね。

資料9 ワールドカップの開催国(2014～2022年)



注) 地図中の◎は、各大会の決勝戦開催都市を示している。

資料10 ワールドカップ決勝戦開催都市における6月と12月の平均気温



資料11 ワールドカップの大会期間とラマダーンの期間を示したスケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014年						大会期間	大会期間					
2018年					ラマダーン期間	ラマダーン期間	大会期間					
2022年	X											

大会期間
 ラマダーン期間

- ①
- | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|-----|-----|------|
| | | | ラマダーン期間 | | | | | | | | 大会期間 |
- ②
- | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|----|----|----|----|---------|---------|-----|-----|------|
| | | | | | | | ラマダーン期間 | ラマダーン期間 | | | 大会期間 |
- ③
- | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|----|----|----|------|------|---------|---------|-----|-----|
| | | | | | | 大会期間 | 大会期間 | ラマダーン期間 | ラマダーン期間 | | |
- ④
- | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|---------|----|----|------|------|----|-----|-----|-----|
| | | | ラマダーン期間 | | | 大会期間 | 大会期間 | | | | |

3 地球的課題の地理的考察に関して、問1～問4に答えよ。

問1 タクマさんは、世界や日本の工業について興味をもち、資料1と資料2を得た。これらの資料から読み取ったり、推察したりした文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **9**。

資料1 ベトナムのハノイ近郊にある日系企業の加工組立工場



(<http://www.sohwa.jp/assembly/> による)
(株式会社創和)

資料2 香川県丸亀市の丸亀うちわとその製造風景



(香川県うちわ協同組合連合会)

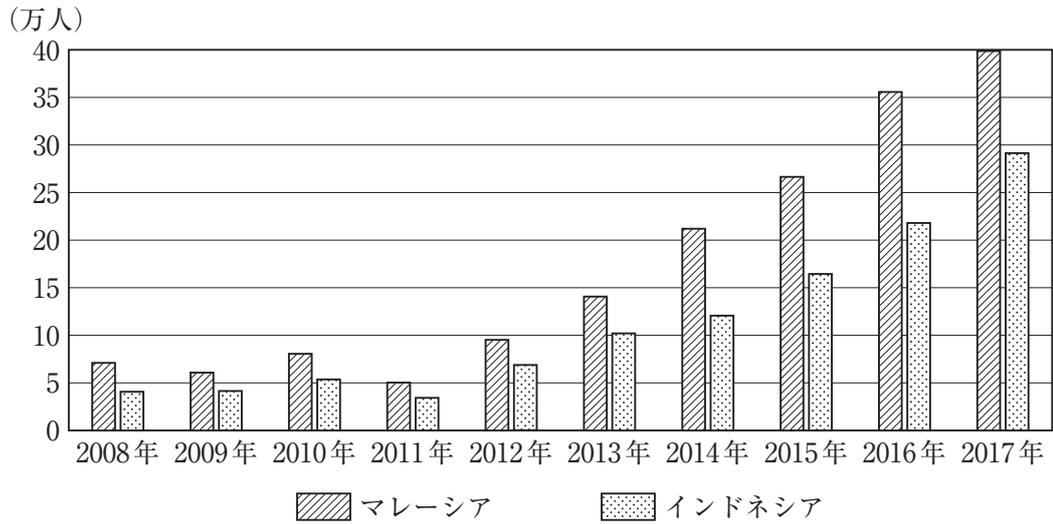


(一般財団法人かがわ県産品振興機構)
(<https://www.kensanpin.org/sp/products/intro.php?id=128> などによる)

- ① 資料1のような日系企業の加工組立工場は、人件費を節約するため、安価な労働力を確保しやすいベトナムなどのアジア地域に立地する傾向がある。
- ② 資料1のように、ベトナムでは国内の雇用機会の増大を期待して、日本などの外国企業を積極的に誘致することで、経済発展を目指している。
- ③ 資料2のようなうちの製造は、その地域に専門的な技術が受け継がれ、地場産業として成立している。
- ④ 資料2のようなうちの製造は、世界市場に輸出しやすい大型船舶が着岸できる港湾施設を有している土地に立地する傾向がある。

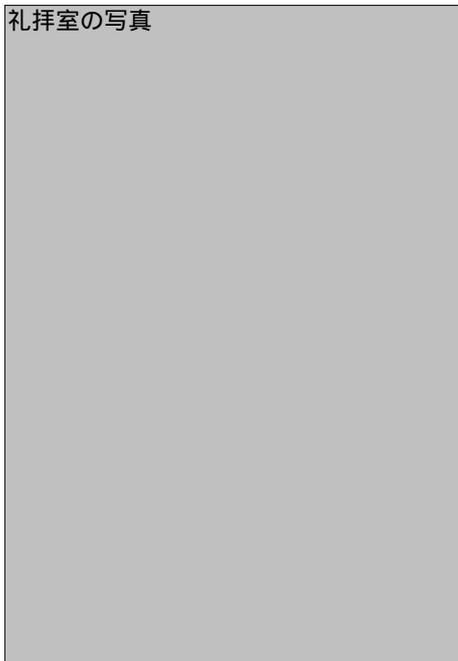
問 2 タクマさんは、日本を訪れる外国人観光客が増加していることに興味をもち、資料3～資料5を得た。これらの資料に関して、タクマさんと先生の会話文中の空欄 **X**，**Y** に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **10**。

資料3 マレーシア、インドネシアからの訪日観光客数の推移



(日本政府観光局による)

資料4



資料5



マレーシアハラール
コーポレーション
(日本)



日本アジア
HALAL 協会

(NPO法人日本アジアハラール協会) (日本イスラーム文化センター)



日本イスラーム文化センター

(<http://adop.today/report02/> による)

会話文

タクマ：最近街を歩いていると、外国人観光客をよく見かけます。

先生：そうですね。資料3を見ましょう。経済発展が著しく、ムスリムの多いマレーシア、インドネシアからの観光客が近年増えているのが分かります。私たちは、これらの国の人々の生活習慣を理解した上で、受け入れる態勢が求められます。

タクマ：先日、空港へ行ったときに資料4のような標示を見つけました。

先生：この標示のある部屋は、ムスリムが X するために利用することが多いようです。また、資料5もムスリムに関係の深いマークで、いずれもアラビア語で「ハラール」と書かれています。何を示したマークでしょうか。

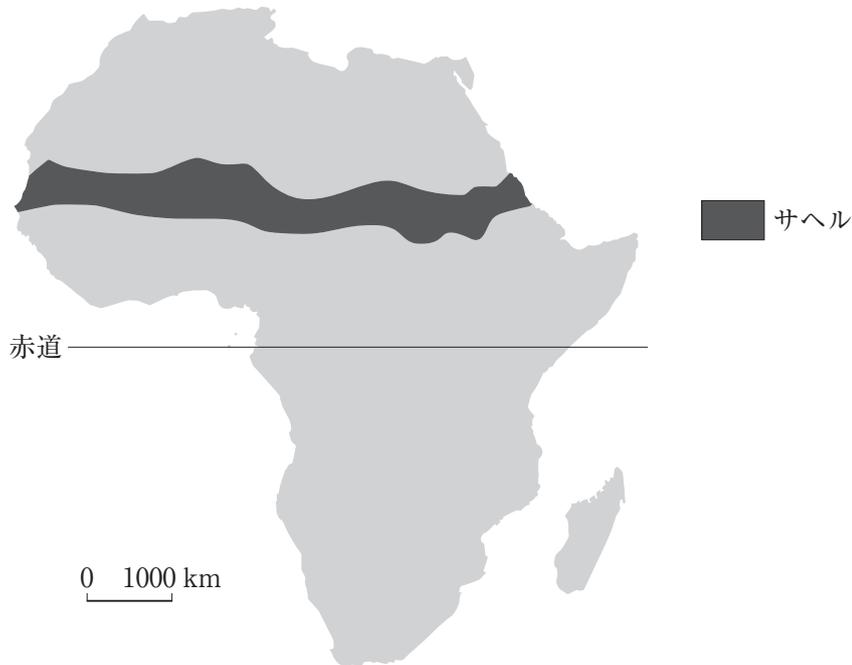
タクマ：はい、これらのマークは Y 食品であることが分かりました。

先生：よく調べました。最近では全国各地の食料品売り場やレストランなどでも、このマークを見かけるようになりました。このように、世界の人々が旅行中でもその生活習慣に配慮をした日々を送れるよう環境を整えることが大切です。

	X	Y
①	聖地に向かって礼拝	好みや味付けを最大限考慮した
②	聖地に向かって礼拝	教えによって食べることが許された
③	日本到着後に巡礼	好みや味付けを最大限考慮した
④	日本到着後に巡礼	教えによって食べることが許された

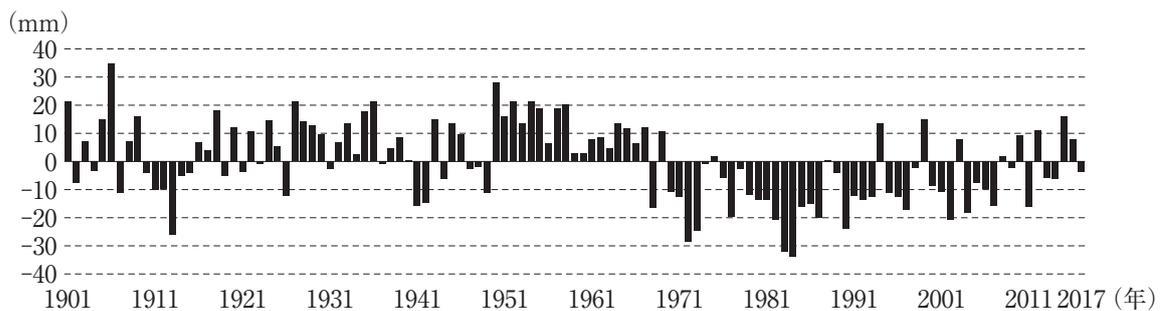
問 3 タクマさんは、世界的な気候変動に関わり、資料 6～資料 8 を得た。これらの資料に関する先生とタクマさんの会話文中の **A** ～ **C** に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **11**。

資料 6 サヘル分布



(<https://www.esrl.noaa.gov/news/2005/sahel/> により作成)

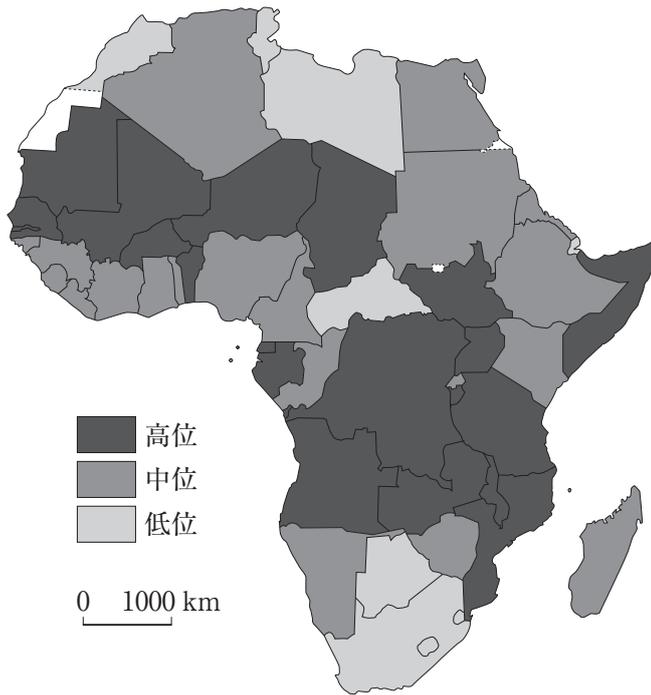
資料 7 サヘルにおける年降水量の変化



注) 降水量の値は概ね北緯 10～20 度、東経 10～20 度の範囲における、1900～2017 年の平均値を 0 としたときの降水量の差を示している。

(<http://research.jisao.washington.edu/data/sahel/> により作成)

資料8 アフリカの国別人口増加率(2010～2015年)



注) 白抜きはデータなし。

(<https://population.un.org/wpp/Download/Standard/Population/> により作成)

先生：世界各地で気候変動に伴う様々な環境変化が起こっており、特にアフリカのサヘルにおける1970年代以降の環境変化は、世界的に注目されています。この地域では、どのようなことが起こっていると考えられますか。

タクマ：資料7を見ると、サヘルでは1970年代から1980年代にかけて大規模な **A** に見舞われることが多かったのではないのでしょうか。

先生：そうですね。それは環境変化の大きな要因の1つです。そのような自然的要因以外に、環境変化を引き起こす要因は考えられますか。

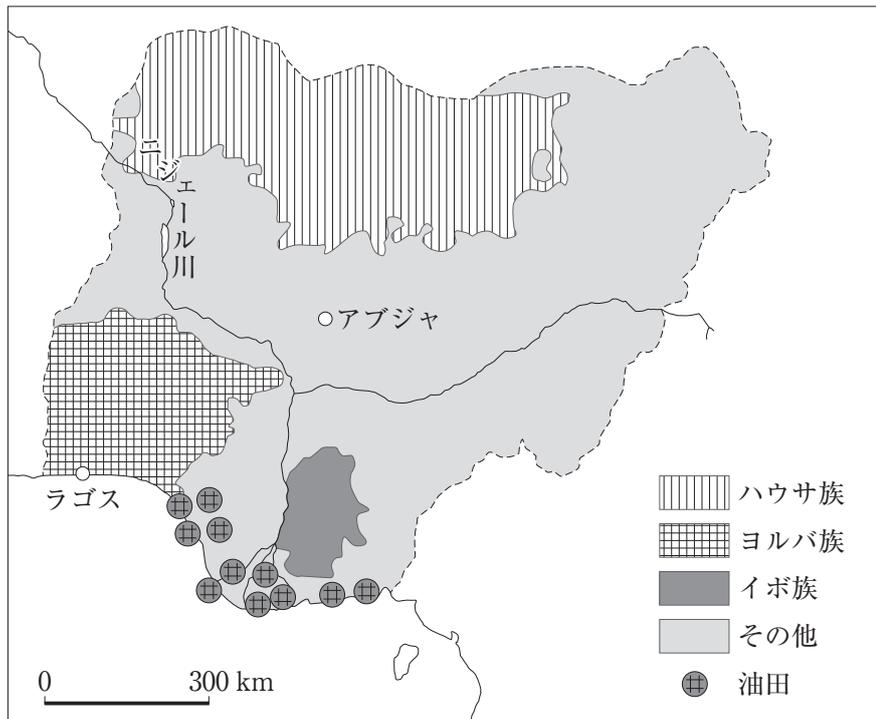
タクマ：資料8を見ると、この地域はアフリカの中でも人口増加率の高い国が含まれていることが分かりますね。そうすると、主に **B** などして、植生が元に戻らなくなってしまった結果、 **C** が進んでいるのではないかと思います。

先生：そうですね。 **C** などの環境変化は、自然的要因、人為的要因が複雑に絡んで起こっており、現在、その防止に向け様々な取組が行われています。

	A	B	C
①	干ばつ	新たな産業として、木材の過剰な伐採が行われる	森林破壊
②	干ばつ	食料生産を増やすため、過剰な放牧や耕作が行われる	砂漠化
③	洪水	新たな産業として、木材の過剰な伐採が行われる	森林破壊
④	洪水	食料生産を増やすため、過剰な放牧や耕作が行われる	砂漠化

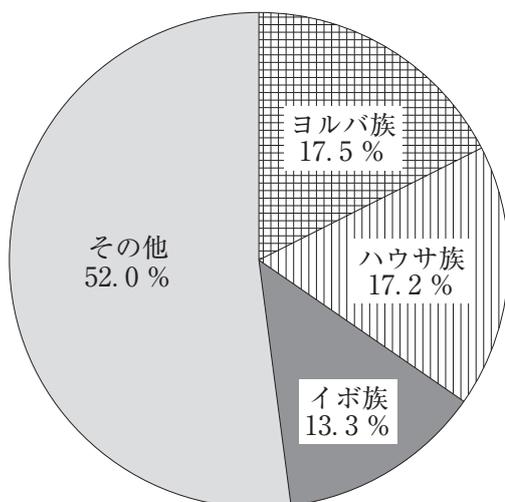
問 4 タクマさんは、ナイジェリアが1990年代にラゴスからアブジャに首都を移転させたことについて興味をもち、資料9～資料11を得て、その背景と理由を資料12にまとめた。資料12中の空欄 **X** ～ **Z** には、それぞれア～ウの理由のいずれかが当てはまる。その組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **12**。

資料9 ナイジェリアにおけるラゴスとアブジャの位置と民族分布及び油田地域



(De Grote Bo satlas 2007 などにより作成)

資料10 ナイジェリアにおける民族割合(2000年)



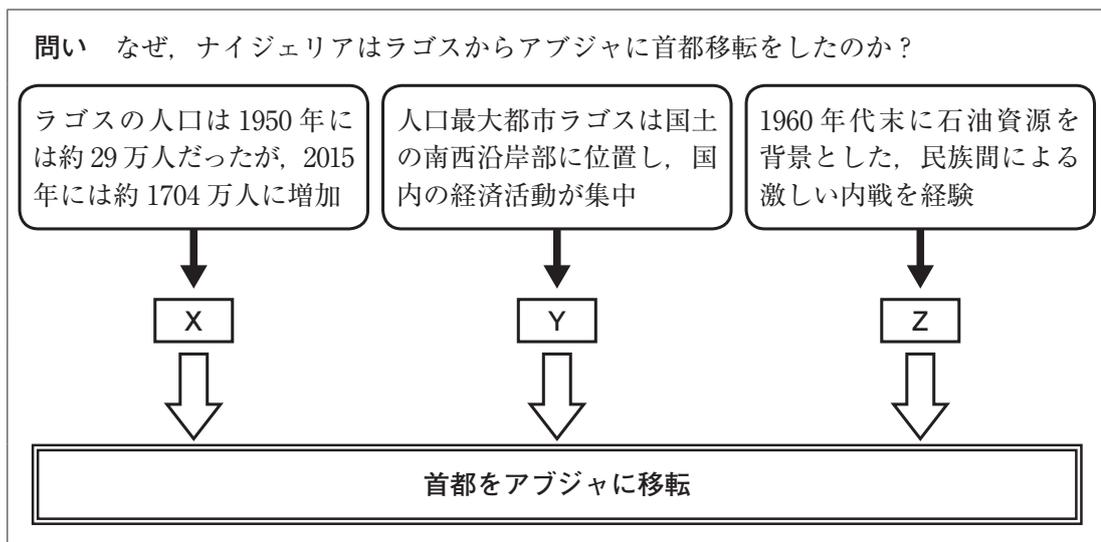
(国と国旗のハンドブック 2018/19 により作成)

資料11 ラゴスの中心部の様子



(ナショナルジオグラフィック日本版 2015年1月号による)
(日本ナショナルジオグラフィック)

資料12



理由

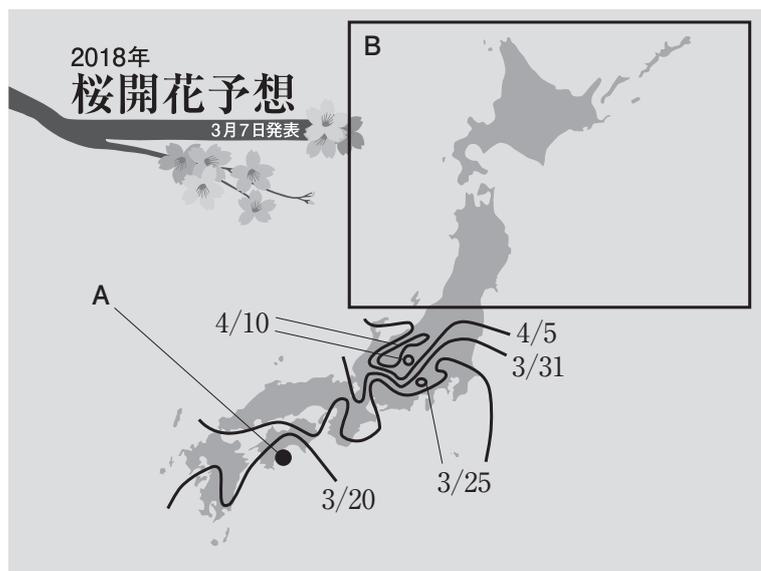
- ア 都市内における慢性的な交通渋滞や生活環境の劣悪なスラムの拡大が起こっているため
- イ 国内の物流機能や雇用の均衡を図り、国土のどの地域からもアクセスしやすくするため
- ウ 多民族国家における民族バランスと安全保障上の配慮をして、民族の融和を図るため

	X	Y	Z
①	ア	イ	ウ
②	ア	ウ	イ
③	イ	ア	ウ
④	イ	ウ	ア

4 日常生活と結び付いた地図，自然環境と防災に関して，問1～問4に答えよ。

問1 ユリさんは，国内の桜開花予想が地域によって大きく異なっていることに興味をもち，資料1～資料3を得た。これらの資料に関して，ユリさんたちと先生の会話文中の空欄 **X** ， **Y** に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを，あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **13** 。

資料1 2018年桜開花予想



(https://tenki.jp/forecaster/y_nakagawa/2018/03/07/87.html#sub-title-a により作成)
 (一般財団法人日本気象協会)

資料2 日本周辺を流れるおもな海流

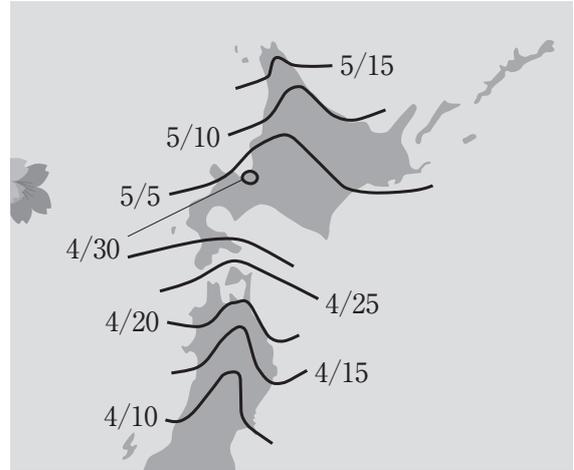
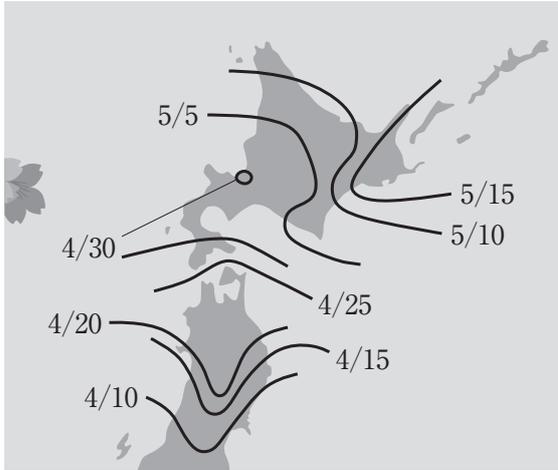
日本周辺を流れる暖流と寒流を示した地図



資料3 資料1のBの範囲を示した図

ア

イ



(https://tenki.jp/forecaster/y_nakagawa/2018/03/07/87.html#sub-title-a により作成)

会話文

ユリ：資料1によれば、桜の開花予想分布は九州などで早く、徐々に北上していることが分かりますね。

トモヤ：低緯度地方で早く、高緯度地方で遅いということですね。同じ緯度付近では開花予想日はほぼ同じようです。でも、緯度による分布だけでは説明できない地域もあります。

先生：例えば、資料1のAの地点が、周辺に比べて開花予想が早いのはなぜでしょう。

ユリ：それは、資料2を参照すると、X が沿岸部を流れているのが大きく影響していると考えられるのではないのでしょうか。

先生：そうですね。では、資料1のBの範囲の桜の開花予想分布図として適切なのは、資料3のアとイではどちらでしょう。

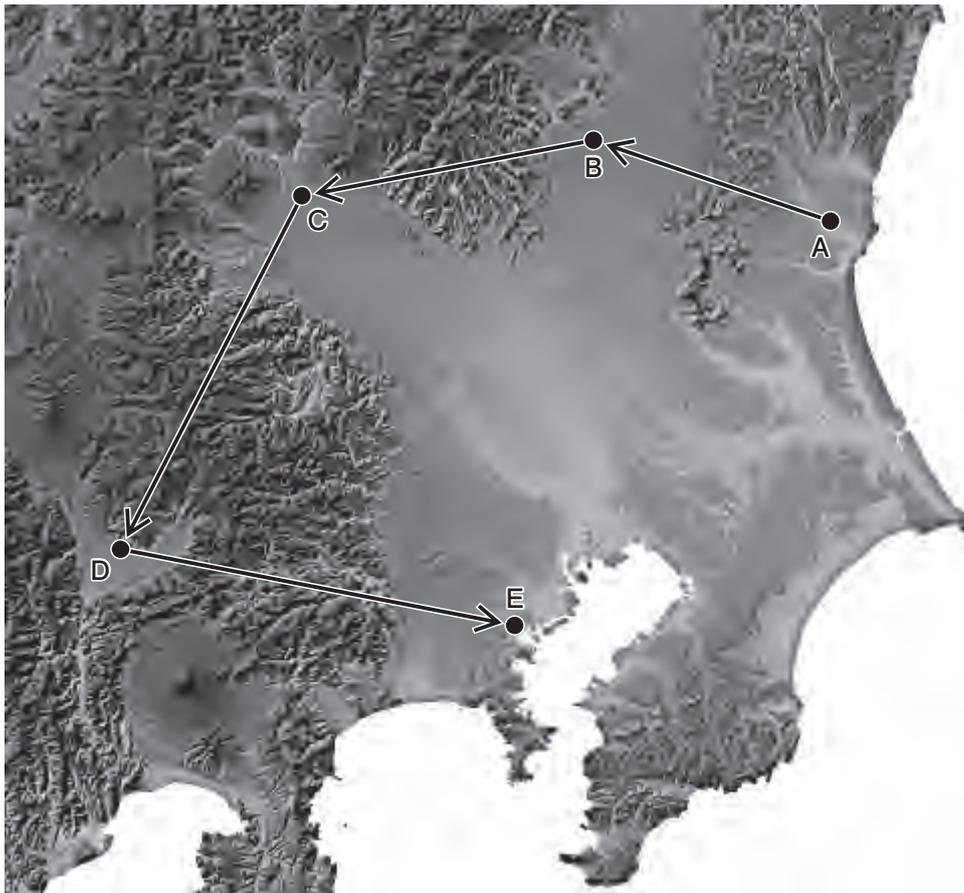
トモヤ：それは、資料2や東北地方の山脈の分布などを合わせて考えると、Y ではないのでしょうか。

先生：そのとおりです。

	X	Y
①	暖流	ア
②	暖流	イ
③	寒流	ア
④	寒流	イ

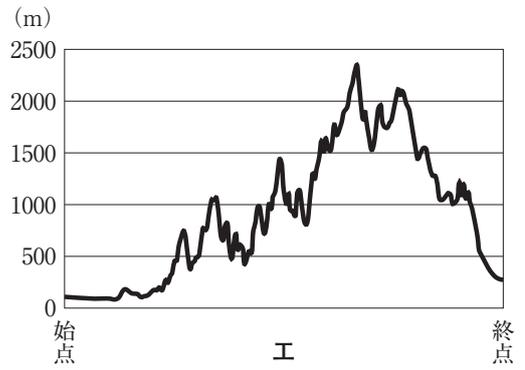
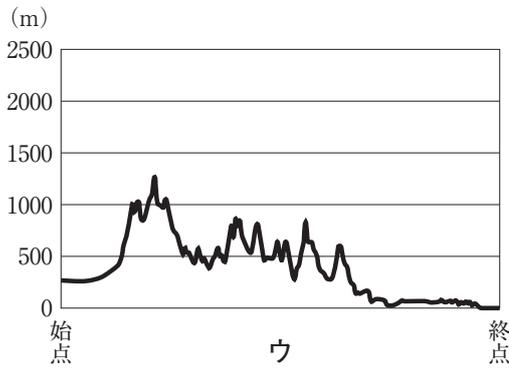
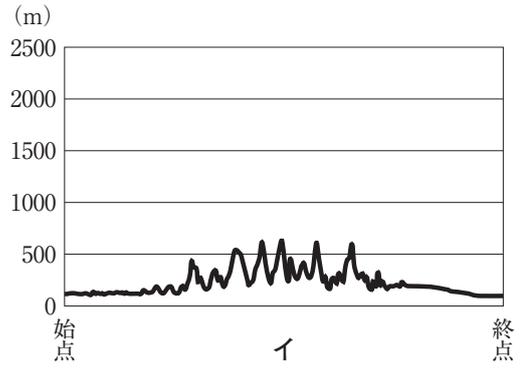
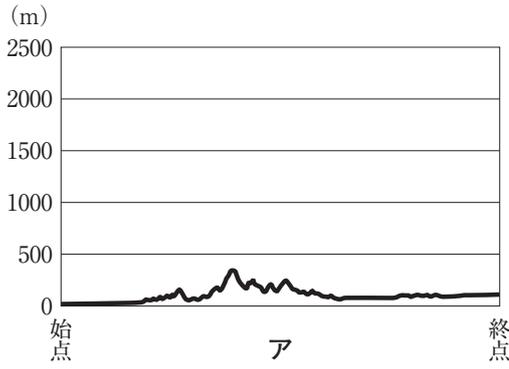
問 2 ユリさんは、関東地方及びその周辺地域の地形的な特徴をみるために、資料4のように地形の起伏を濃淡で示した地図を得た。資料5中のア～エは、資料4中の太線のルート上の、A→B、B→C、C→D、D→Eの地形断面図のいずれかを示している。A～Eに至る4つの太線ルートと、その間の地形断面図の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

資料4



(地理院地図により作成)

資料 5



注) A～Eのそれぞれの区間距離は異なるが、ア～エの横軸は同じ長さになるように調節してある。

	A→B	B→C	C→D	D→E
①	ア	イ	エ	ウ
②	ア	ウ	エ	イ
③	イ	ア	ウ	エ
④	イ	エ	ウ	ア

問 3 ユリさんは「自然環境と防災」の授業において、インターネットで配信されている地図サービスを利用して、資料6と資料7を作成した。これらの資料に関して、ユリさんと先生の会話文中の空欄 , に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

資料6

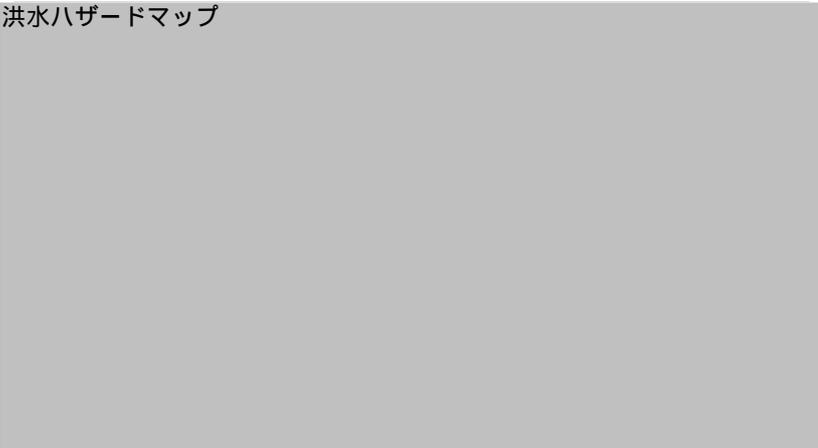
ア 土砂災害ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ



イ 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ



ウ 津波ハザードマップ

津波ハザードマップ



資料7

避難場所、特定の災害に備えた避難施設、丘陵地（傾斜地）、河川・海を示した地図



(<https://www2.wagmap.jp/shizuoka-hazard/Portal> により作成)

会話文

先生：地形などの条件を参考に、自分のいる場所でどのような災害が起こりうるのか、もし起こってしまったらどのように行動すればよいのか考えておくことはとても大切です。

ユリ：資料6，資料7を見ていて思ったのですが，避難場所に指定されている場所も災害によっては危険な場合もありそうな気がしてきました。

先生：重要なことに気づきましたね。例えば資料7中の★印の地点Pにいるとき，降り続く大雨のために避難勧告や避難指示が出されたら，避難場所A，避難場所Bのうち，どちらに避難した方が良いか，資料6を基に判断できますか。

ユリ：大雨の影響で心配される被害は X のハザードマップを見る必要がありますね。そうすると，Bの避難場所が良いのではないのでしょうか。

先生：良い判断だと思います。できるだけ安全な避難経路なども予め考えておきたいですね。では次に，資料7の●印で示された「特定の災害に備えた避難施設」は，ある災害が発生した際に，緊急避難するために設置されています。これはどのような施設であると思いますか。

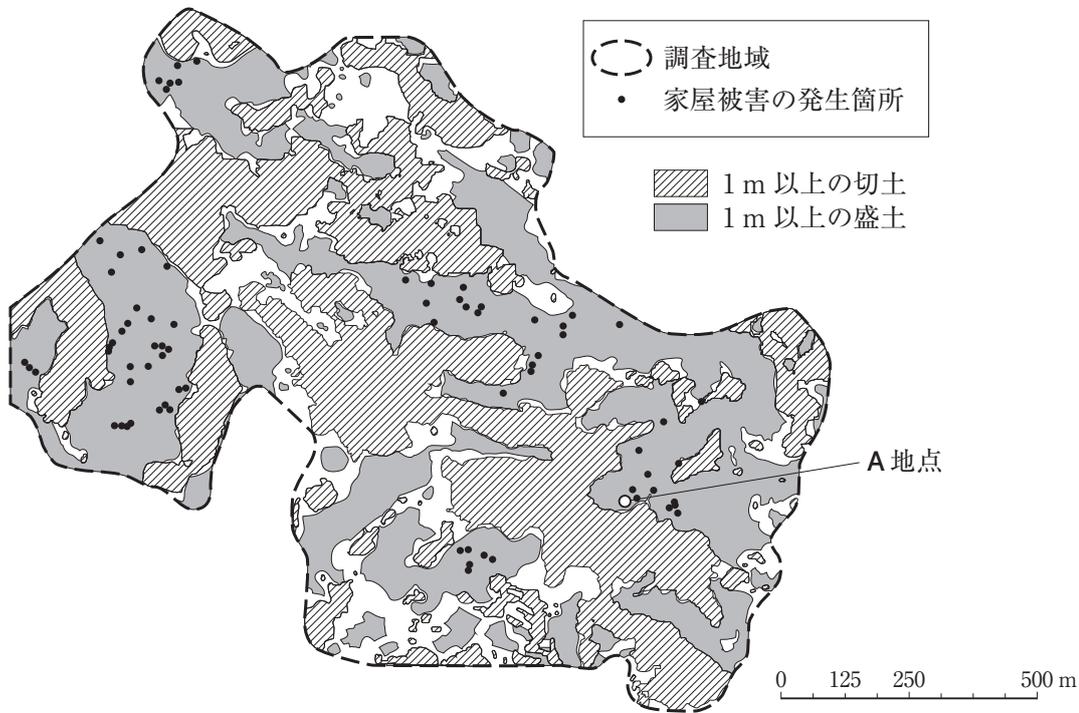
ユリ：この場所で緊急避難を要するとすれば， Y だと思います。

先生：そうですね。この施設が対象としている災害の場合，危険を感じたら少しでも早く避難する必要があるため，避難専用建設されたものの他，既存の建物も緊急時に使用できるように指定されています。

	X	Y
①	アとイ	頑丈で高さのある施設
②	アとイ	バリアフリーに配慮した段差のない施設
③	イとウ	頑丈で高さのある施設
④	イとウ	バリアフリーに配慮した段差のない施設

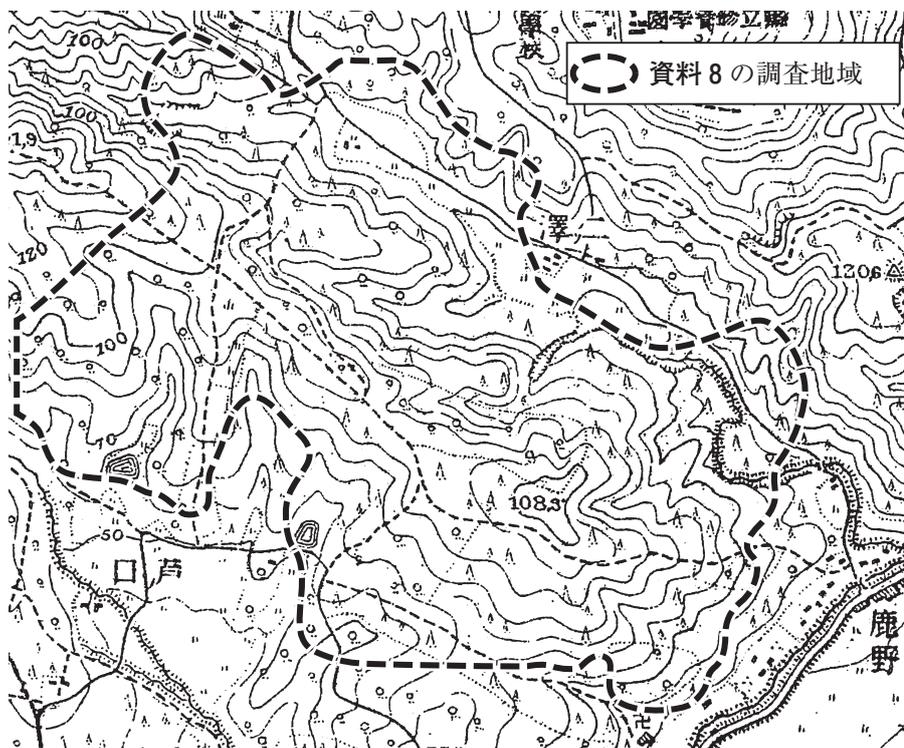
問 4 ユリさんは、土地の履歴と地震災害の関係について調べるため、資料 8～資料 10 を得た。これらの資料からユリさんが読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

資料 8 東北地方太平洋沖地震による家屋被害の分布と盛土・切土分布



(<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/h23giken/program/kadai/pdf/ippan/ippan1-08.pdf> により作成)

資料 9 1947 年発行の地形図で見る等高線



(地理調査所発行 25,000 分の 1 地形図「仙臺西南部」昭和 22 年発行を拡大)

資料10 A地点における被害状況



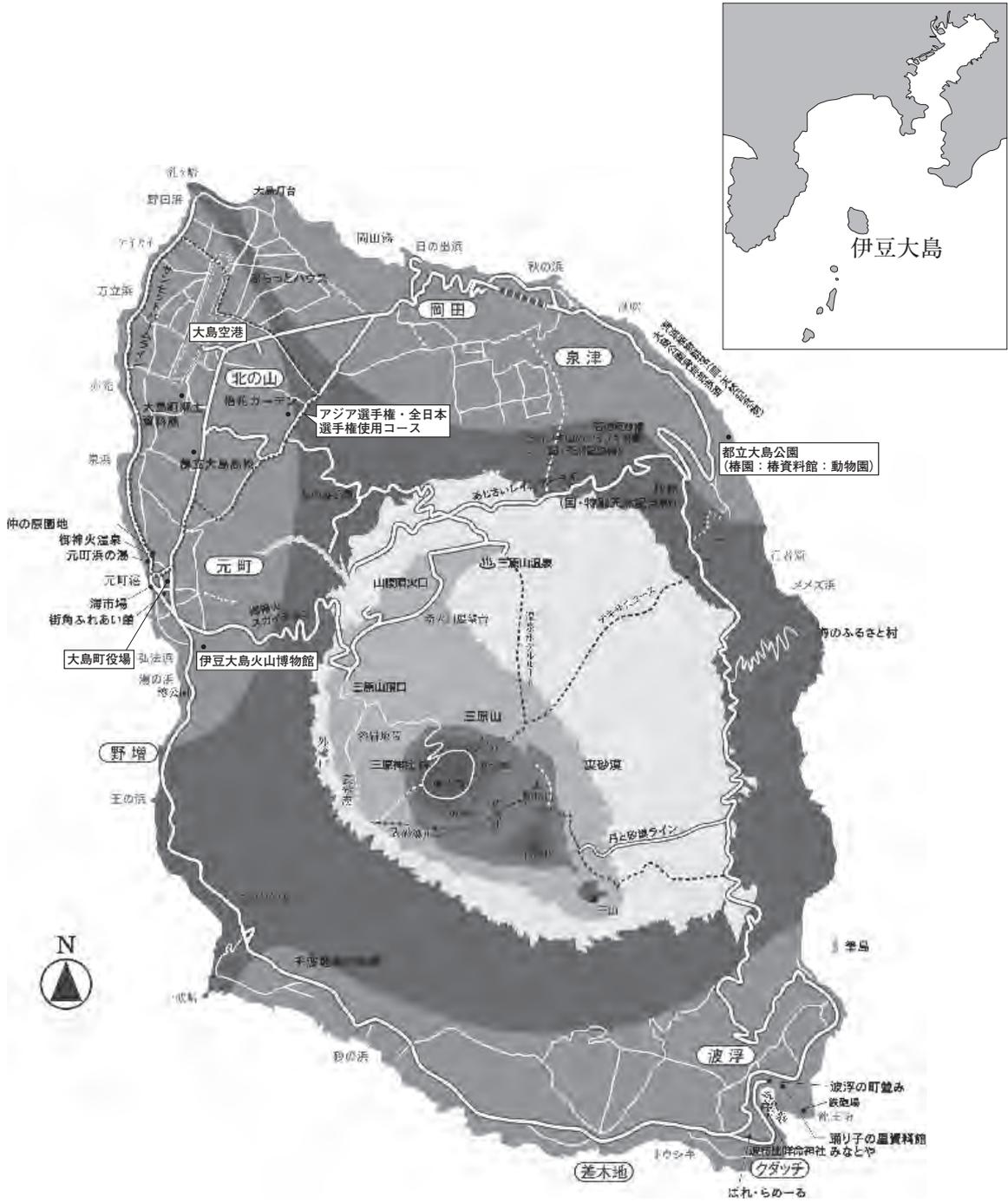
(<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/h23giken/program/kadai/pdf/ippan/ippan1-08.pdf> より)

- ① 資料8から、調査地域の大半は、盛土や切土によって地形が改変されていると考えられる。
- ② 資料8と資料9から、盛土となっている場所の大部分は谷であった場所であると考えられる。
- ③ 資料8と資料9から、被害が発生した家屋は、1947年以前から建っているものが多いと考えられる。
- ④ 資料8と資料10から、A地点では盛土の場所で地割れが発生したと考えられる。

5 生活圏の地理的諸課題と地域調査に関して、問1～問4に答えよ。

問1 コウタさんは、東京都大島町^{おおしまち}の地域調査を行うために、資料1を得て、大島町での調査内容をカードに記した資料2を作成した。大島町に関する調査とその方法を示した文として不適切なものを、資料2の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

資料1 伊豆大島 全体図



(大島観光協会ホームページにより作成)

資料 2

① 伊豆大島中央部の三原山噴火による災害範囲について調べるために、伊豆大島火山博物館を見学し、職員から聞き取り調査を行う。

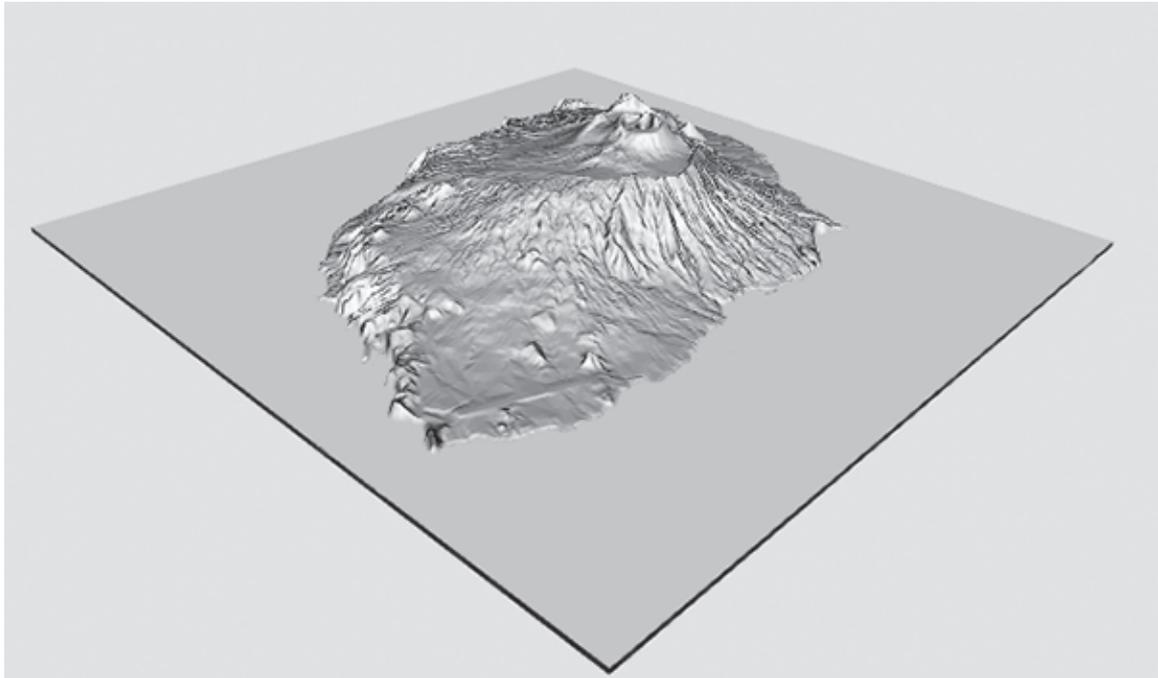
② アジア選手権・全日本選手権使用コースとなったサイクリングコースの月別利用者数の推移を調べるために、大島空港周辺の空中写真を取り寄せて分析する。

③ 都立大島公園来園の目的や、どのようにして公園の情報を入手したかを調査するために、公園を訪れる観光客を対象に、アンケート調査を行う。

④ 大島町元町地区の人口と世帯数の経年変化について調べるために、大島町役場が作成したホームページにある町勢要覧等のページから統計資料を入手する。

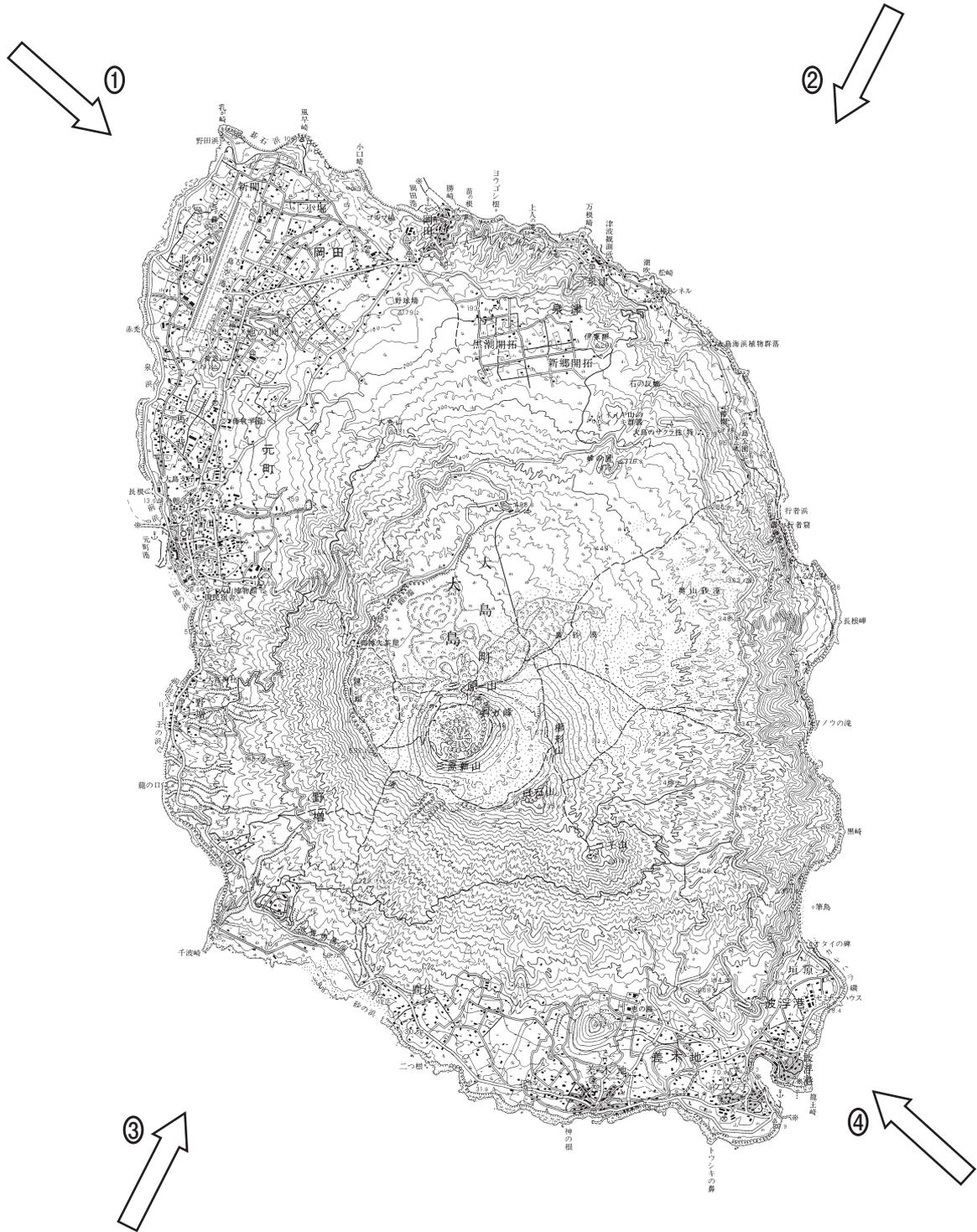
問 2 コウタさんは、大島町の起伏を調べるために、地理院地図を活用して伊豆大島の地形を斜め上空から眺めた資料 3 を作成した。資料 3 で伊豆大島を眺めている方向として最も適切なものを、資料 4 中の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

資料 3 地理院地図で作成した立体地図



注) 標高は 3 倍に強調して作成されている。

資料4 伊豆大島の地形図とそれを眺めたと考えられる方向

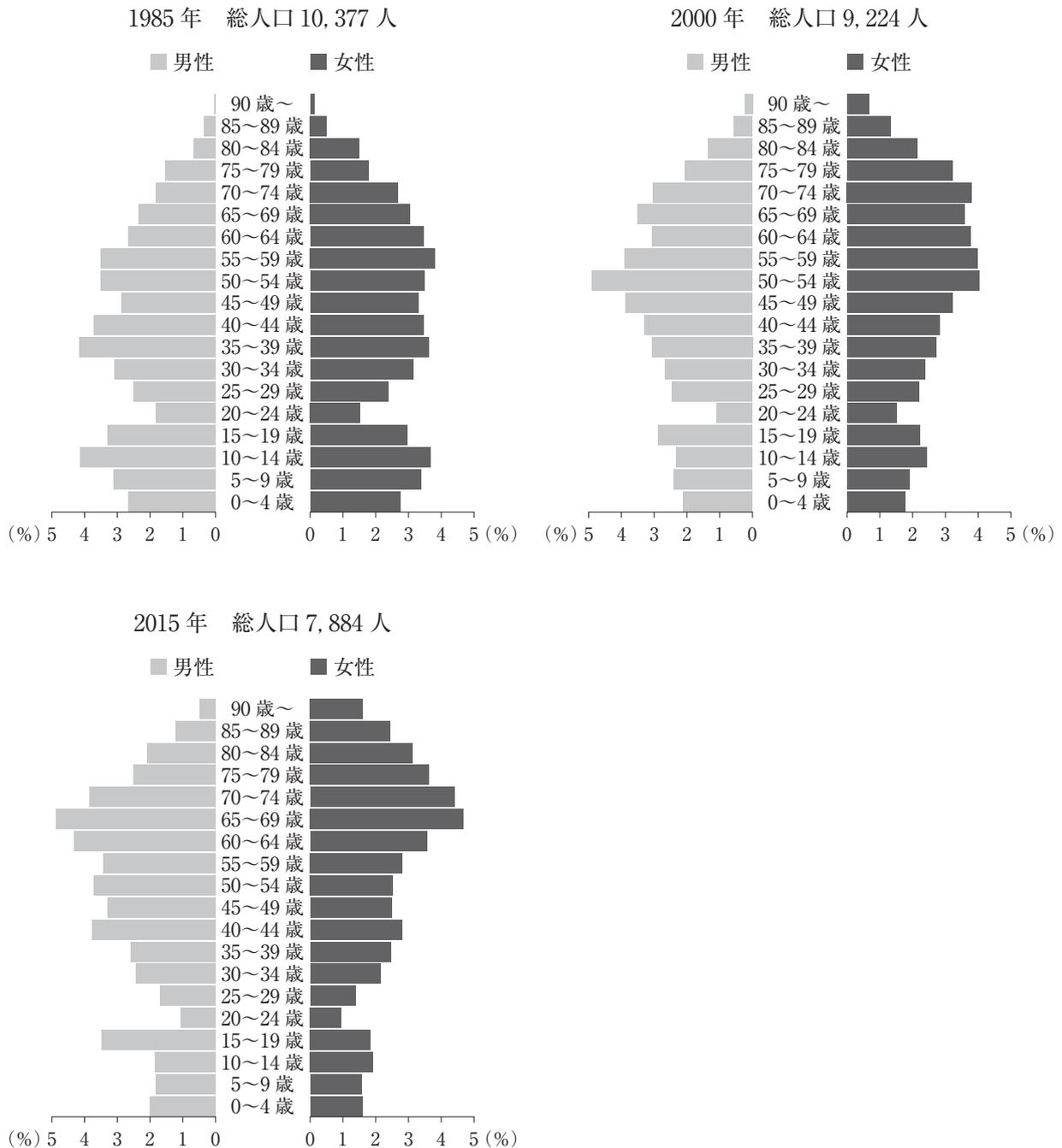


注) ← は眺める方向を示す。

(国土地理院発行 50,000 分の 1 地形図「大島」, 平成 20 年発行を 60% に縮小)

問 3 コウタさんは、大島町の人口について調べ、資料5を得た。この資料から読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

資料5 1985年、2000年、2015年の大島町の人口ピラミッド

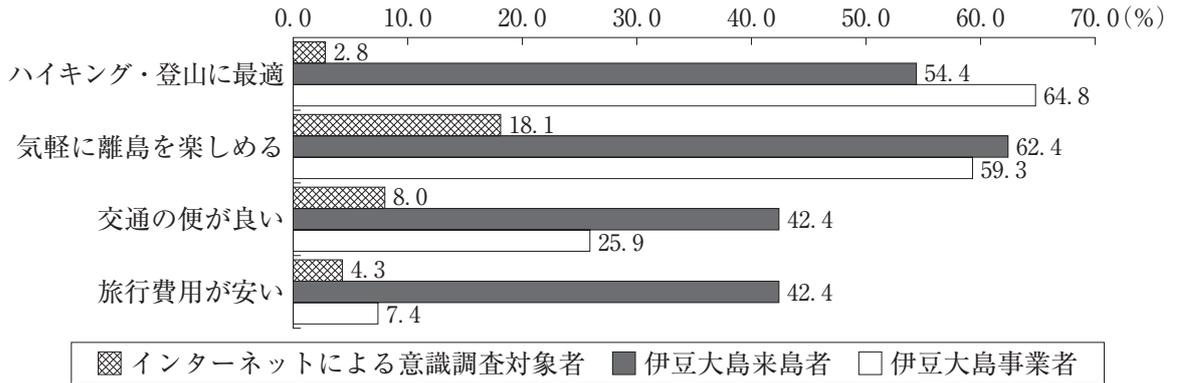


(地域経済分析システム(RESAS)により作成)

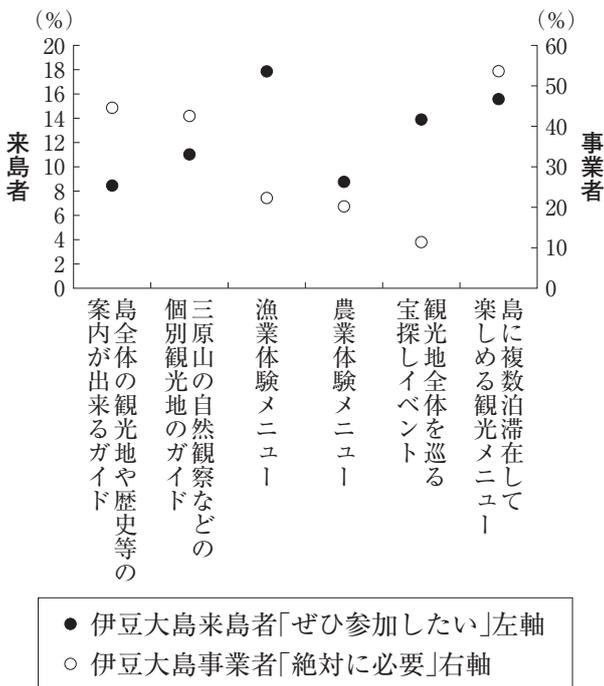
- ① 1985年から2015年の間に、総人口は2,000人以上減少したが、老年人口(65歳以上)の割合が上昇していることが分かる。
- ② 2015年の人口ピラミッドを見ると、15～19歳の年代層では男性の方が女性よりも割合が高いことが分かる。
- ③ 1985年、2000年、2015年の人口ピラミッドを比較すると、いずれも、生産年齢人口(15～64歳)の中で最も割合が低いのは、20～24歳の年代層であることが分かる。
- ④ 1985年、2000年、2015年の人口ピラミッドを比較すると、最も割合が高いのは、いずれも65～69歳の年代層であることが分かる。

問 4 コウタさんたちは、2010年に「日本ジオパーク」の認定を受けたことなどを契機に、大島町が観光の活性化に力を入れていることに興味をもち、伊豆大島の観光に関する資料6と資料7を得た。これらの資料について検討したコウタさんたちの意見カード①～④のうちから、不適切なものを一つ選べ。解答番号は 20。

資料6 伊豆大島に対するインターネットによる意識調査対象者、来島者、島内事業者別のイメージ比較



資料7 観光メニューに対する評価



(財団法人東京市町村自治調査会 平成24年3月 「島しょ地域における観光ニーズに関する現況調査」により作成)

意見カード

① コウタさん

資料6から、インターネットによる意識調査対象者は、伊豆大島は「ハイキング・登山に最適」と考えている人が調査対象者中最も少ないのに対して、伊豆大島来島者は、「ハイキング・登山に最適」と考えている人の割合が50%を超えていることが分かります。

② ユウマさん

資料6から、伊豆大島のイメージ比較として、伊豆大島来島者は、「交通の便が良い」と考えている人の割合が42.4%であるのに対して、伊豆大島事業者は25.9%であり、双方の調査回答に15ポイント以上の差があることが分かります。

③ カオリさん

資料7から、伊豆大島事業者は、「島に複数泊滞在して楽しめる観光メニュー」が絶対に必要と考えている割合が、それにぜひ参加したいと考えている伊豆大島来島者の割合を上回っていることが分かります。

④ ミユキさん

資料6と資料7から、伊豆大島来島者と伊豆大島事業者では、「旅行費用が安い」といったイメージや「観光地全体を巡る宝探しイベント」に対する評価において、20%以上の意識の差があることが分かります。

(これで地理Aの問題は終わりです。)